

2016年12月議会審議日程

	曜	会議	場所	備考
12月1日	木	本会議	議場	議案提案・総括質疑
12月2日	金	建設企業委員会	第一委員会室	付託案件の審査 橋本議員担当
12月5日	月	文教経済委員会	第一委員会室	付託案件の審査 上野議員担当
12月6日	火	厚生委員会	第一委員会室	付託案件の審査 平良木議員担当
12月7日	水	総務委員会	第一委員会室	付託案件の審査 橋爪議員担当
12月8日	木	一般質問	議場	各議員の質問日は 追ってご案内 いたします
12月9日	金	一般質問	議場	
12月12日	月	一般質問	議場	
12月13日	火	一般質問	議場	
12月15日	木	本会議	議場	



諏訪区の様子

「国宝購入は無駄」「道路の吹きだまり対策を」「民生委員制度の改革を」など多彩な意見が、このほど、三郷、浦川原、諏訪、中郷の各区で行われました。

このうち、18日に行われた諏訪区の報告会では、頸城区や大湊区在住の人を含め9人の市民が参加しました。（上野議員が運営スタッフとして参加）

担当議員による9月議会の議論の状況の報告に続いて、市民の皆さんからの率直な意見を寄せていただきました。

出された意見は、「国宝の刀剣を購入したいということだが、購入のメリットはない。どうして買うのか。所有者から借りてくるだけでもいいのではないのか。3億というお金は無駄だと思ふ」「農業委員は公選制から任命制になるが、問題はないのか」「新水族館はどのような建物になるのか。具体的なプランは出来上がっているのか」「諏訪地区の活性化のために、なんとか都市ガスを設置できないか」「上越市でも、ペットが人間と一緒に避難できるように、検討する機会をぜひつくってほしい」「大きなプロジェクトが同時に始まっている。今

「国宝購入は無駄」「道路の吹きだまり対策を」「民生委員制度の改革を」など多彩な意見

市議会主催で「議会報告会・意見交換会」

9月議会の報告を主な話題とする議会報告会・意見交換会（市議会主催）が、このほど、三郷、浦川原、諏訪、中郷の各区で行われました。

このうち、18日に行われた諏訪区の報告会では、頸城区や大湊区在住の人を含め9人の市民が参加しました。（上野議員が運営スタッフとして参加）

担当議員による9月議会の議論の状況の報告に続いて、市民の皆さんからの率直な意見を寄せていただきました。

出された意見は、「国宝の刀剣を購入したいということだが、購入のメリットはない。どうして買うのか。所有者から借りてくるだけでもいいのではないのか。3億というお金は無駄だと思ふ」「農業委員は公選制から任命制になるが、問題はないのか」「新水族館はどのような建物になるのか。具体的なプランは出来上がっているのか」「諏訪地区の活性化のために、なんとか都市ガスを設置できないか」「上越市でも、ペットが人間と一緒に避難できるように、検討する機会をぜひつくってほしい」「大きなプロジェクトが同時に始まっている。今

米山知事 未来語る

20日、市内で「米山知事を励ますつどい」が開かれ、約500人の市民が参加しました。歴史的な展開となった県知事選挙から1か月が経過し、あらためて喜び合うとともに、米山民主県政を守り、国政を変えていく展望が見える会となりました。

講演に立った米山知事は、「選挙後、永田町へ行くと、対応が和らい



でいた。その背景には民意がある」「原発問題では、『もう一度過酷事故がおきたら日本は終わり』ということは、自民党議員も含めて共通認識。徹底的に検証しなければならない」と述べました。

そして、「急激な変化で県政に支障が出ないよう慎重に事を進めることが必要だが、みなさんの期待に応えられるよう、県民の暮らしを守る県政にしてい」と約束しました。

日本共産党上越市議員団ニュース

No. 523 2016年11月27日

連絡先
橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
橋本 正幸 080-1980-9855 (三和区鴨井)
上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田)

後、財政的な問題はないのか」「冬の間、風向きと直角になる道路には吹きだまりができる。人が入ってしまったら、助けることもある。どうしたらいいのか」というものです。

特に、雪の吹きだまりができて危険だという問題では、「毎年、話を出しているのに前進しない。どうしてこうなるのか」と、強い口調での指摘がありました。

同日行われた中郷区の報告会には、板倉区の人を含めて8人の市民が参加しました。（平良木議員が運営スタッフとして参加）

こちらで出された意見は、「町内会長をしているが、何年も前から民生委員の件で苦労している。13項目もの選任基準があり、人選が厳しい。しかも、無報酬。仕事も広範囲。定員を増やしても、なり手がいない。仕事に見合った手当の支給は考えられないのか」「私道整備の補助制度があるが、条件が厳しい。町内では狭い里道の整備をしたいが、それに対応できる制度にできないか」「まちづくり振興会でスクールバスの運行を受託

しているが、タイヤが摩耗しても二本しか替えてくれないなど、まともに更新してもらえない。スクールバスの運営に関する今後の見通しは議会で話し合っているのか」「区内に危険な空き家がある。行政も一生懸命だが、進まない。所有者が市内にいるとのことで、そちらへの働きかけのみである。地元としてはすぐに安全対策に取り組んでほしい」というものでした。

いずれの区でも、早急な対応が求められる切実な問題が出されました。議会としての適切な対応が求められます。

なお、「市民に開かれた議会」をめざす議会改革の一環として、8年前から取り組まれていた、議会報告会も、各区をほぼ二週し、定着してきています。しかし、参加者がなかなか増えず、固定化してきており、特に若い人の参加が少くないなど、見直しの時期にさしかかっています。そこで、意見交換会を主管している広報広聴委員会では、この間の問題点を分析しながら、どのような改善をすべきかという検討を開始しています。